



吉祥寺の家Ⅱ

新しい文化と武藏野の自然が共生する吉祥寺の街に、木組の家が完成しました。

省エネの工夫として、エアコンの風を床下へ送り、吹抜でつながった家全体を、エアコン一台のみで空調できるように設計しました。無垢の杉、桧をふんだんに使いながら、モダンでスタイルも良く、軽妙で居心地の良い空間を実現しました。

所在	東京都武蔵野市
構造規模	木造二階建て
防火地区	準防火地区
建築面積	70.15 m ² (21.22坪)
延床面積	127.57 m ² (38.59坪)
設計監理	松井郁夫建築設計事務所
施工	キューブワンハウジング
材木	天童TSドライシステム
写真撮影	奈良岡 忠



COMINET
LIVE

Communication Network for Live

株式会社
松井郁夫建築設計事務所
まちづくりデザイン室

165-0023
東京都中野区江原町 1-46-12-102/203
TEL03-3951-0703 FAX03-5996-1370
URL <http://matsui-ikuo.jp>
E-mail ok@matsui-ikuo.jp

2012 [No.52]

復興元年。松井事務所では、これからも復興支援を続けていきます。

「日本を、住む。」

わたしたちは、3.11 東北大震災によって多くの人や家を失いました。未曾有の津波や原発事故は、わたしたちの想像を超える事態です。あの日から、もうすぐ一年が経とうとしています。当事務所では、被災した方々に一日も早く、団らんと活力の場となる住まいを提供したい、と考えてまいりましたが、都市計画事務所 地域計画連合(江田代表)との協働で、福島県新地町の復興住宅をお手伝いすることとなりました。

まずは、新しい移住地での生活基盤づくりを進める「はじめの一歩」計画の提案。また、高齢の方達が集まって住むための共同住宅「ひとつ屋根の下」計画の設計などです。

さらに、会津地域の復興支援グループ会津「き」組(吉田代表)との協働による伝統的な木組を駆使した移築・再生可能な家づくり「うちにかえろう」計画での供給体制の構築があります。

どちらも、これから被災した人達との意見交換が始まります。心強いパートナーたちと協働しながら、しっかりと被災した人達に寄り添って「日本を、住む」覚悟でのぞみたいと思います。



現在進行中

「高円寺の家」防火地区の木組の家

協力：桜設計集団

高円寺の住宅密集地に、いつでも庭を眺めながら暮らせる、陽のある住まいをつくります。

敷地は東京都の条例で定められた、新防火地区のため「準耐火建築物」の設計となります。もえしろ設計を駆使して、無垢の木がそのまま見える、火災に強い木組の家を目指します。



A案 1:100模型

復興モデル住宅「はじめの一歩」提案

福島県新地町

被災されて、家を失くされた方々の、再出発のための「新たな家づくり」について提案書をつくりました。はじめは小さくても、丈夫な架構の家を建てます。いずれ増築して、広くすることもできます。生活の変化に対応できる間取りで長く住み続けられる家として提案しています。

わたしたちは、被災地の方々と、復興に向けて「はじめの一歩」を踏み出したいと考えています。元気な東北を、一緒に取り戻すために。



子供たちに美しい新地の町並をつくろう！

「大和の家」完成

施工：キューブワン・ハウジング



左下 和室
左中 居間吹抜
左上 屋根野地板
右下 外観北面
右上 外観南面
写真



大和の家

区画整理で生まれ変わる商店街に、木組の店舗併用住宅が建ちました。建主さんは、松井の共著「木造住宅【私家版】仕様書」に掲載されている間取りを気に入られ、設計をご依頼になりました。

新たな工夫として、よりシンプルで力強い架構を実現するために、野地板一枚で屋根を葺き、無垢の杉板をすきりと見せました。吹抜は、居間の空間と響き合う丁度良い大きさです。風通しも良く、夏の猛暑日でも涼しく過ごすことができました。店舗部分は、RC造の蔵が入れ子になっており、大切な預かり物を守りつけます。新しい街並をつくる、木組の家です。



所在	神奈川県大和市
構造規模	木造2階建て(倉庫部分内部はRC造)
建築面積	84.60 m ² (25.59坪)
設計監理	延床面積 130.55 m ² (39.49坪) 松井郁夫建築設計事務所
施工	キューブワンハウジング(佐々木棟梁・白鳥監督)
材木	天竜TSライシステム協同組合
写真撮影	奈良岡 忠